



7月図書館企画 第175回 芥川賞・直木賞 候補作決定！

7月15日、東京において、選考会が開かれます。

どの作品が選出されるか、予想してみましょう。

※芥川賞候補作 5作品

『ゾンビ回収婦』 小砂川チト著 ※3回目・群像掲載

三十数年良い子で大人になったわたしは、これまでと変わらずに、賢明にひたむきに役割をこなしていく。感謝されず、褒められもしない。それこそまるで……
みたいに？

『悪い血』 鈴木涼美著 ※3回目・文学界掲載

私はこの幸福とも不幸ともつかない人生をそっとしておきたい。血液を奪還するため、私は歩き出す。

『丹心（まごころ）』 仁科斂著 ※初候補

矛盾だらけの中国大陆に「まごころ」はあるか？

『ソリティアおじさんがいた頃』 村司侑著 ※初候補・文学界掲載

昔職場にいた、黒野田さんが亡くなった。忘れていたこと、確かめようのないことがとりとめなく浮かんでくる。

『アンチ・グッドモーニング』 八木詠美著 ※初候補

眠りは突然奪われた。ポジティブ至上主義の現代社会に反逆する、不眠アドベンチャー長篇！



※直木賞候補作 5作品

『けんぐわい』 朝倉かすみ著 ※3回目

自我に目覚めた主人公が、女の生と向き合う、時代小説の新しい扉！

『見えるか保己一』 蟬谷めぐ実著 ※初候補

天才・埴保己一の胸中にあったのは、絶望か希望か、それとも？

『多類婚姻譚』 風良ゆう著 ※2回目

一緒に生きる。わかりあえないあなたと。セクシュアリティ/ジェンダー、金銭感覚、世代間格差、成育環境。あらゆる価値観の対立の中で現代を生きるわたしたちの祈りと叫び。

『台所のあるところ』 原田ひ香著 ※初候補

世代も境遇もバラバラの5人の女性たちの前には、30分の深夜ドラマ、台所のあるところがあった。

『青天』 若林正恭著 ※初候補

人にぶつかっていないと、自分が生きているかどうかよくわからなくなる。青春の苦みと悦びに満ちた、著者渾身の初小説。



新庄志誠館高最上校図書館7月開放カレンダー

7月図書館企画 校内読書感想文コンクール

第72回青少年読書感想文コンクール課題図書特集

第175回芥川賞直木賞前期特集

日	月	火	水	木	金	土
			1 期末試験	2	3	4
5	6	⑦	⑧	9	10	11
12	13	⑭	⑮	16	17	18
19	20 海の日	21 代休	⑳	23	24	25 学校説明会
26	27 1学期終業式	28 夏季休業	29 夏季休業	30 夏季休業	31 夏季休業	

※○数字の日が開放日です。

投票結果のお知らせ！



6月5日～19日まで、10冊の青春・恋愛小説の中から、投票をしてもらいました。その中から、票数の多かった以下の5冊を購入します。ご協力ありがとうございました。高校生活真っ只中、勉強に部活に進学、就職、恋愛に・・・！

何かと忙しい高校生活ですが、だからこそ、皆さんが選んだ本を読んで、ドキドキ、キュンキュンしてみませんか？

『余命n年』 岬鷲宮著
衝撃と感動の待つラブストーリー。

この想いを、決して死なないあなたに捧げます。

『私が最後に遺した歌』 一条岬著

「一緒に歌を作ってほしい」世界を嫌っていたはずの

私から思わずこぼれ落ちた言葉。そうして二人で紡いだ歌は、私に世界の美しさや優しさを教えてくれて？

『青すぎる春を僕らは翔ける』 笠原零著

つなぐは輝央と書道をするために書道パフォーマンス部を創設し、夢を叶えるため奔走する。思いに突き動かされた輝央は「お前の夢、俺と一緒に叶えてやるよ」と再び書道の道に戻ることを決意し。胸アツ青春ボーイズライフ！

『今夜、きみの声が聴こえる この雨が止む前に』 いぬじゅん著

数葉は、同級生の叶斗に初めての恋をする。その矢先に彼は事故に遭い意識不明となる。失意に暮れる中、祖母にもらった古いラジオから、聞こえるはずのない叶斗の声が聞こえてきて、彼を死の運命から救おうとする中で、数葉は死を前にした様々な人達の運命に立ち会うこととなる。ラスト、ふたりの運命を変えるためにしたある決断とは？

『結末は君のもの 全てが繋がる5つの物語』 湯浅八等星著

一見何の関係もないそれぞれ別々の物語。しかし、一度読んだはずの物語も、別の物語を読むことで、その見え方が変わってきて・・・。意外な展開に驚き、泣けて、全てが繋がっていく。読めば読むほど変化する、5つの物語。



2026 第1回 映画鑑賞会 in 最上校

「8番出口」 川村元気著

主演：二宮和也・河内大和



図書委員会企画 第1回映画鑑賞会を6月18日（木）3時50分から多目的室で開催しました。1年4人・2年8人・3年6人の合計18人が参加してくれました。地域活動部スポーツ班、バドミントン部の皆さんありがとうございました。・ゲームしか知らなかったけど、映画ではとても不気味なところが多くて、ゲームでは感じ取れなかった、怖い感じが伝わってきて、とても面白かったし、楽しかった。

- ・不気味で怖く、不思議だったけど、途中から混乱しながら、ドキドキ、ハラハラ、面白く、楽しく鑑賞することが出来ました。
- ・2回目の鑑賞だったのですが、2回見ても、赤ちゃんが一齐に泣くシーンはすごく怖かったです。
- ・ホラーやサスペンスが好きな方にはおすすめかもしれませんが、びっくりした演出や大きな音などが次々と連発していて、苦手でした。
- ・現実から逃げたい、心では逃避しては

いけない、解かっているけど逃げたい心の葛藤を迷路に例え、その中でも色々な問題、異変が起き、何度も何度も繰り返し、振り出しに戻り、一つずつ課題をクリアし、答えを諦めないで探し求めていくという、とてもすばらしい映画でした。

